

関東アコーディオン演奏交流会 実行委員会ニュース

ホームページ <https://kantoacco.omiki.com/>



第 37 回

No.2 号

2025.7.23 発行

編集 広報部

第 37 回 関東アコ 9 月 21 日(日)開催

「独奏部門」出場者募集中！奮ってご参加を！
※出場申込み締切り：7月31日(木)迫る！！



イラスト・後平

“火星のアコーディオン弾き” きらきら星 童謡(七夕) 銀河鉄道 999 星に願いを... 弾いている曲は??
今年も猛暑が続きます。夏の間は火星にでも逃げ出したいくなりますね(編集部)

目次

- 出場申し込み締切り迫る...2P
- 提出楽譜の作り方...3P
- コッキーコンサート...4~7P
- 音楽センタ中部土曜教室発表会...8~9P
- ふれあいこんさあと Vol.39「ビバ・アコーディオン」...10~13P
- 柴崎和圭アコーディオン教室発表会...14~15P
- 音楽センタ金曜教室コンサート...16~18P
- Ne! 風琴(とっておきの音楽祭)...19P
- アコ太郎レポート...20P
- 【JAA】合奏講座参加者募集...21P
- ホワイトボード...22~24P

独奏部門

出場者募集中
奮って参加を！

申込み締め切り日は 7/31 (木) です。お忘れのないように！！

第 37 回関東アコ・審査員紹介(予定)

審査員 大田智美 大塚雄一 川口裕志 柴崎和圭 松永勇次
三浦みゆき 他(五十音順、敬称略、)
ゲスト審査員 (調整中)

ホームページから申し込めます

ホームページに「申し込みフォーム」を用意しました。利用できる方は是非ご活用ください。

■独奏部門は、下記の通り 7 つの部に分かれております。

- ① ジュニアの部 小学生から中学生
- ② 初心者の部 A ジュニアを除く経験 3 年程度(鍵盤楽器の経験無)
- ③ 初心者の部 B ジュニアを除く経験 3 年程度(鍵盤楽器の経験有)
- ④ シニアの部 A 年令 60 歳以上 経験 5 年以内且つ鍵盤楽器の経験無
- ⑤ シニアの部 B 年令 60 歳以上 シニアの部 A 以外
- ⑥ 一般中級の部 経験、年齢制限無(パーマー&ヒューズ 6 巻以下レベル)
- ⑦ 一般上級の部 経験、年齢制限無(パーマー&ヒューズ 7 巻以上レベル)

※本会はコンクールですが、採点・順位付けを希望しないこともできます。

※その他、各部の演奏時間、出場参加費、また、今回は「演奏動画の販売」もございます。特に郵送で申し込まれる方は、行き違いのないように「第 37 回関東アコーディオン演奏交流会参加のお誘い」をご確認の上申込みください。(ホームページ、ニュース 1 号(5 月発行等を参照)



審査の様子(2023 年)大ホール

■郵送で申込む際の送り先

塚本五郎 〒216-0033 川崎市宮前区宮崎 660

044-877-9871 (Tel/Fax) tsuka@mrg.biglobe.ne.jp

- 出場参加費は郵便振込又は、銀行振込で 7 月 31 日(月)までに送金して下さい。
当日欠席の場合は、参加費は、返却できません。

- 出場参加費 ゆうちょ銀行 関東アコーディオン演奏交流会 築山 泉
記号 10150 番号 25676321

三井住友銀行 府中支店 関東アコーディオン演奏交流会代表 築山 泉
店番号 628 口座番号 7367762

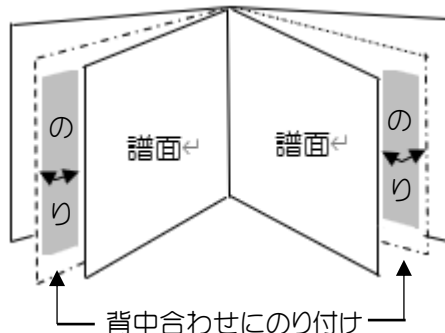
審査用楽譜の提出について

この要領を熟読し、適切な形の楽譜を作成のうえ提出してください。

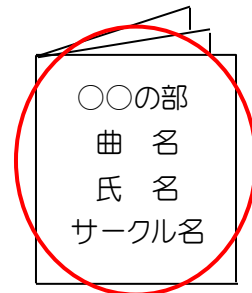
1. 提出部数は後日、出場者にお知らせ致します。
2. 大きさは見開きで、B4 サイズ～A3 サイズにしてください。
3. 表書きは忘れずに記入してください。
 - ①表書きは、楽譜に直接書く。
 - ②表書きをした別紙を楽譜に貼る場合は、コピー用普通紙を使用してください。
 - ③〇〇の部、曲名、氏名、サークル名を記載してください。
4. 審査用楽譜は、できるだけ見やすいものを提出してください。

提出していただく楽譜は、審査の際に、審査委員の先生方に、その楽譜にアドバイスを書き込んで頂き、演奏交流会終了後に演奏者にお返りするものです。

《 製本の仕方 》



《 表書きの書き方 》



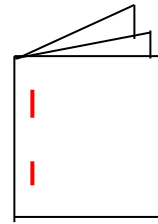
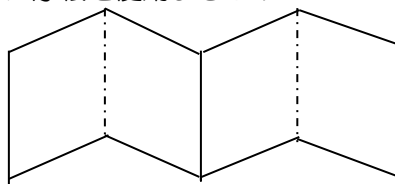
表書きは、楽譜に直接書く。または、コピー用普通紙に書き楽譜に貼る。

ご注意

①提出部数が不足 ②表紙の記載事項が不十分 ③製本の仕方が不適切 など審査用楽譜の作り方が不適切な楽譜が目につきますので注意してください。

不適切な楽譜の例

1. 練習中に先生から受けたアドバイスや覚書メモを書き込んだままの楽譜をコピーしたもの。
2. 一部分、または特定のパートを蛍光ペンでなぞった楽譜をコピーしたもの。
3. ホッチキスで製本したもの
4. 表書きに厚紙を使用したもの



◇送付締切 8月31日(日)必着で送ってください。

◇送り先 塚本五郎 〒216-0033 川崎市宮前区宮崎 660

044-877-9871(Tel/Fax) tsuka@mrg.biglobe.ne.jp

ACCORDION コッキーコンサート

2025 年 5 月 18 日(日) 彩の国さいたま芸術劇場・映像ホール 開演 13:30



JR 埼京線「与野本町」駅で降り西口へ出ると、線路に沿ってタツミ通りとの交差点までの間、幅の広い歩道の線路側にある花壇には色とりどりのバラが咲き誇り通行人の目を楽しませていました。会場の映像ホールはホームページ上で客席数 150 席と記されているけれど、それ以上入っていたと思える満席で開演を待ちました。

第一部【ソロ】

定刻になると中国の民族衣装を思わせる赤色の地に模様の入った衣装で登場。開幕演奏は「ピア樽ポルカ」(編曲：金子元孝)でした。緊張して少し走ってしまったのか、と感じられるぐらい軽快な流れで手元にビールの入ったジョッキがあれば高く持ち上げたいくなります。“さあ、始まるよ、今日は楽しんでください”と語りかけるように明るく力強い演奏で幕が開きました。

演奏後の挨拶で、『一生に一度ぐらい実力以上のことをちょっと楽しんでみようかなと 70 歳(古希)の節目に取り組みました。私の誕生日を祝って一緒に楽しんでいただけたらとても嬉しいです。』と語り、『この



紹介がありました。

2 曲目は「ドミノ」(編曲：堀部隆次)。『この曲は、私がウインドバスカーズに入ったとき、先輩がすばらしい演奏をされていて、いつか弾ければいいなと思っていました。今なら弾けるかも知れないと取り組んでみました』と紹介。変わった編曲です。弾き終わった後に見せた“にっこり笑顔”が素敵でした。

3 曲目は「故郷のワルツ」(作曲：岡野貞一/編曲：松永勇次)。『コロナ禍の初期に家にいる時間が増えたので苦手な和音の練習のためにと取り組んだ曲で、唱歌の「故郷」をアコーディオン用にアレンジしてあり、「ワニのゲーナ・アコーディオン曲集(松永勇次編曲)」に収録されています』と紹介。今回の演奏では、松永勇次氏、柴崎和圭

氏の指導により元譜に若干の修正を加えているとのこと。♪うさぎ追いしかの山・・・この唱歌の変奏曲です。和音を分散して弾くときに、右手指の形がコードの形にしっかり開いているので流れるように音のつながりがきれいでした。

〈同期トークコーナー〉

このコーナーは浅川共子さんと同期の浜崎秀子さん、添島礼子さんお二人による思い出話やクイズで浅川さんを紹介していました。

まず、紹介する側の自己紹介を兼ねて。(浜崎さん：浅川さんとは 40 年ちょっとのお付き合いです。入ったときは埼玉合唱団の伴奏グループと一緒に活動していました。大宮教室に集って練習していて、ハキハキと話しをする上手な人、それが浅川さんでした。また、山椒は小粒でもピリリと辛い) そのような紹介でした。

(添島さん：私もアコーディオンを始めて何十年も経ちました。習い始めは初級教室に入ります。教則本の曲を順番に練習する際に手ほどきして

くださったのは中級教室の先輩たちでした。



発表会でとにかく頑張っ
て弾き、へとへとになっ
て休んでいると中級教
室の合奏が始まりました。
そのメロディーのきれい
なこと、あんなふうに弾
けたらいいなあと思って

仲間に入りました。その中に浅川共子さんがすでにいらっしやったので、ほぼ同期で浅川さんは一歩先を歩く先輩のような感じです。私も中級教室に入り毎週水曜日夜 2 時間一緒に練習してきました。もう何十年もの積み重ねになりますから様々な人、様々な音楽に出合って、今それらは大切な宝物です) と、それぞれの出会いを紹介。

現在、浅川さんはウインドバスカーズのリーダーです。そんな浅川さんって何が好きなのかちょっと質問をしました。皆さんも一緒に考えてみて

下さい。ということで、Q.「一日の中でどの時間が好き？」。(浜崎さん：私は夜9時頃、一日が終わってちょっとホッとする時間ですね)。(添島さん：私は、朝でも昼でも夕方でもご飯を食べている時間です)。

浅川さんの答えを紹介します(「10時30分頃」

朝の家事を一通り終わってお茶タイムで一息する時間です)ということでした。ここで、浜崎さんから『浅川さんのご主人は相当な料理好きで、お酒はご夫婦とも好まれるようで夜の時間はゆっくり飲みながら、今年はどこに行こうか(外国も含めて)あそこも楽しかった、などと夜のバージョンは広がっているように聞いております』等と家庭での様子が語られました。

次のQ.「好きなパンは何パン？」

(浜崎さん：もちろんクリームパンですね)

(添島さん：私はカレーパンが好きです)

A.「あんパンとウインナーパン」だそうです。

あんこが好き、ウインナーも好きと、添島さんからパンのことで話しを向けられた浜崎さんは『あんパンといえば今、朝ドラでやっているやなせたかしさんのことが話題になっているので、私もアンパンマンの最後の台詞が大好きで、♪そうだ嬉しいんだ生きる喜び たとえ胸の傷が痛んでも ああ アンパンマン 優しい君は 行け！みんなの夢まもるため キョウコさん正義の味方！』と歌い、次の質問です。

Q.「自分を野菜に例えたら何ですか？」(浜崎さん：タマネギ。最初は辛いけど煮込むと味が出てきて甘くなりますよね) (添島さん：ジャガイモかな、どこでも採れる、保存が利く)

A. にんじん (かな?) ごつごつと固いが少しは甘い…と答えてくださいました。最後のQ.です「浅川さんってどんな人？」(添島さん：一言で言うところの人) (浜崎さん：私は、偉大な人です)。このような掛け合いで“浅川さんの魅力漫才”に会場は笑いで一杯でした。

次の準備ができました。ここから4曲フリーベースアコーディオンでの演奏になります。

最初は「Sakura」日本古謡(編曲:Lars Holm)。『この曲を編曲された Lars Holm さんの「さくら」を初めて聴いたときに、アコーディオンでこういう音が出せるのかと驚いた記憶があります。その後まさか自分がフリーベースを弾くことになるとは想像もしなかった。この楽器は響きが美しいけれどとても難しい楽器というイメージだったので、子どもが弾くような教則本で少しずつ少しずつ習ってきました』と紹介。

2曲目は「上を向いて歩こう」(編曲:松永勇次)。この曲に限らず、どの曲も初めて聴く凝ったというかおしゃれな編曲で、聴く方は楽しめるけれど、演奏者にとっては難解な譜面だと思いました。

浅川さんは『私は日本の曲を弾くのが好きで、自分の国の曲を聴いてもらいたいという思いが強いんですけど、フリーベースはピアノと同じことが、またピアノとは違う表現で素敵な音楽を演奏できる楽器なのでやはりクラシックを弾いてみようかと練習しました』と語り、

3曲目は「ソナタ 二短調 K.9」(作曲:Giuseppe Domenico Scarlatti)。『この曲は、昨年6月ウィンドバスカーズの定期演奏会で一度弾いた曲です。その時は「お転婆娘の私が演奏致します」とコメントしていただきましたが、今日はもう少しおしとやかに弾ければと願っています』と紹介。トリルがいくつも出てくる曲です。筆者は昨年聴いたときの感想を実行委員会ニュースに載せていたのでたぐってみました。〈たくさん出てくる



鳥のさえずりのような細かいトリルがきれいに客席に届いていました〉と記しています。全くその通り素敵な演奏です。

そしてフリーベースでの最後の曲は、グリークの抒情小曲集から「農夫の歌」(作曲:Edvard Hagerup Grieg)。『これもピアノの曲ですけども、アコーディオンにはとても似合う曲です』と解説。

1曲1曲弾き終わった後になっこりしたり、とても爽やかな表情で演奏されていました。

・・・20分休憩・・・

第二部【シャンソンとアコーディオン】

伴奏:柴崎和圭

ピンクのドレスで登場。『10年前に仕事を辞めてから、楽器の演奏は緊張するので少し発散できるようにとたまにシャンソンを習い始めました。今回この際だからと歌を入れさせていただきました。シャンソンは3分間のドラマ、多少は下手でもそこは詩があるということで…今日は私のアコーディオンの先生でもあります柴崎和圭

先生においでいただいています』と柴崎和圭先生の伴奏で歌います。

最初の曲は「さくらんぼの実る頃」(訳詞：工藤勉)。多くの人に知られた曲です。1曲歌い終わ



ったところで、『シャンソンを歌うことでアコーディオンの理解が深まって得だなと思うのと、もう一つはこれ、40年前結婚式で着用したドレスです。無事に着れて良かったです』と紹介されると、驚きの声と共に大きな拍手が続きました。

2曲目は「幽霊」(訳詞：高野圭吾)。筆者は初めて聴く曲です。プログラムの解説によると、〈シャルル・トレネ(1913-2001)の歌う「幽霊」は戻り来る者(自分の少年時代の魂)という意味のようです。子どもの頃見た夢を追いかけていく、大人になってもまたどこかへ飛び出したいとしゃれっ気を込めて歌っていますと解説〉。2拍子の曲なのか4拍子なのか、歩き出したくなる陽気な曲に聞こえました。

3曲目は「アコルデオン」(訳詞：高野圭吾)。『暮らしの相棒のアコーディオンを歌っています。でも原曲の歌詞は、お金がなくてとうとうアコーディオンを売った。日本語では、壊れてしまって病院に連れて行ったけど古くて……。アコーディオンが友達で私は日本語の歌詞にホットしています』と解説。普段コーラスもされているので、歌も素敵です。ソプラノより少し低い音域でしょうか。



〈ゲスト演奏 柴崎和圭〉

最初の曲は「グリーンスリーブス(変奏曲)」。

『皆さん小学校で聴いたことがあると思います。大人になり交流があってドイツに行きました。ドイツ語でブスって「バス」のことなんですね。緑の3台のバスが来た、という意味ではない。ノースリーブというように袖のことなんです、6世紀頃に作曲された古いイギリス民謡ですけども、いろいろな意味がある。シェイクスピアに出てきますが緑という色は娼婦をイメージしたり、妖精をイメージしたり。有力な説では、昔は洋服の身ごろと袖を別々に仕立てたんです、交換が可能だった。その袖を愛する人に渡し、交換してそれを大事にしたらしい。♪ここに残る緑の袖、あなたの思い出なんだ…と歌詞に出てくるとてもきれいな曲です』と紹介して演奏。

次は『私が大好きなアストル・ピアソラの曲「ペドロとペドロ」。ピアソラは3・3・2拍子というイメージがあるけれど、こういうきれいな曲もあるんです』と解説し演奏。

また『私が始めたのは39年前、その頃の彼女(浅川さん)はかわいいお姉さん。先ほど何かに例えていましたけど、突然機関車みたいになったり、ジェット機みたいだったり、秘めた物を一杯持っている素敵な方です。』『最後の曲は「パリカナユ」日本では「パリ野郎」。パリの街を擬人化して、いろいろ文句を言うんです、こんな汚い街で、とか。でもやっぱりこの街が素敵だ。フランス人って自分の国に誇りを持っているんですね。いろいろあるけど、こうやって粹に暮らしていくのがフランスなんだと歌った曲を浅川さんに讃歌を込めて捧げたいと思います。』と話すと、会場から「おお」と声が上がりました。お客さんは軽快な演奏に大きな拍手で応えていました。

〈アンサンブル〉ここからはウインドバスカーズのメンバーによるアンサンブルのコーナー(司会：寺田弘美)

最初は浜崎秀子/浅川共子のデュオで「パリのお嬢さん」(編曲：吉田親家)。『浜崎さんは川口教室の責任者であり、初級教室の講師でもあり各所で活躍されています。また、頼りになる人生の先輩です。今回もたくさん助けて貰っているそうです。』と紹介され演奏。〈パリの下町で働くお針子娘のことであり、同時に歌を歌ったジャクリーヌ・フランソワのニックネームだそうです〉と解説。白のブラウスと淡いグリーンスカートでフレーズが変わるところでは互いに顔をみつめて呼吸を合わせていました。(次ページに写真)



次は、添島礼子に加わりトリオで「Førdeminner(昔の思い出)」(作曲：Arnstein Johansen)。『添島さんはコロナ禍がきっかけで家庭菜園、畑仕事にはまったそうです。野菜は、太陽と水と土の力で自然と育つのですがアコーディオンはそうはいきません、三人で大事に育てた曲を演奏するのがとても楽しみです。また、「昔の思い出」は空と海と緑の風が爽やかなノルウェーの故郷を歌っています』と紹介。3拍子の、夢ごちで気持ちよくうとうとしてしまいそうな曲です。



次は、最後の曲で「モダン・ディーズィー・タイムズ」(作曲：C. S. Chaplin, LDanierff、P. Frosini/作・編曲：松永勇次)。=下の写真=長澤雪枝と佐野由起子がさらに加わりクインテット(五重奏)です。『長澤さんは、バスアコ

ーディオンを担当するパワフルな方です。佐野さんは5人の中では一番の若手ですが音楽経験は長く深くとても頼りになります。4年前の定期演奏会でも演奏しましたがこの素敵な曲を再演したいと松永勇次先生に指導をお願いしました』と紹介。(松永先生は会場の後ろの席で立ち上がり拍手で紹介を受けていました)

『ちょっと変わったタイトルですが、モダンタイムズと同じ題名の喜劇映画があります。この映画の主人公、監督はチャールズ・チャップリンです。チャップリンがもし今の社会を見たらどんな映像を作るでしょう。ディーズィーとはめまぐるしいという意味です。戦前と戦後のモダン音楽が次々と出てきます。皆様目をまわさないようにご注意ください。4年前と違って指揮無しで演奏します』と紹介。

ジャズふうアレンジされ、昭和のモダン歌謡曲などがめまぐるしく登場します。演奏者もリズムに乗ってからだ動き演奏を楽しんでいる様子が伝わってきました。

最後に一人で再登場して、『温かい拍手に支えられなんとか最後まで演奏できてとても嬉しく思っています。沢山のこうした友達や仲間や指導者の皆様に囲まれて本当に幸せ者です。今日はありがとうございました』とお礼の挨拶。拍手に応じてピアソラの「アベ・マリア」を演奏。パイプオルガンの響きがありカノンのような旋律で、無事に古希を迎えられリサイタルまで実現できた幸せを祈るかのように、静かに幕を下ろしました。

プログラムの表紙には、「KYOKO. A より感謝を込めて」の文字が印刷されていました。とても古希とは思えない力感のある演奏に勇気付けられ、元気を頂いたリサイタルでした。

※演奏写真：主宰提供 (記：乙津)



2025 年・音楽センターアコーディオン中部土曜教室発表会
2025 年 5 月 24 日（土）開演 16：30 音楽センターホール “Accoustica”

筆者も所属する、音楽センターアコーディオン科の中の 1 つ、中部土曜教室です。4 年ぶりの発表会なので楽しみに出かけてみました。会場は、JR「新大久保」駅、又は副都心線「東新宿」駅から徒歩 7 分ぐらい、音楽センター地下 1 階にあります。

司会は、土曜教室 08 の石垣真里子さん、編曲はすべて講師の関英昭先生です。〈 〉は司会のコメントです。＝写真：主宰提供＝

ウエルカム合奏 〈「いつも何度でも」この曲は、ジブリ映画「千と千尋の神隠し」のエンディングテーマ。映画の中で主人公の千尋が様々な体験を通してたくましくなり、人生を再出発をする応援歌です。この曲をアコーディオン演奏でお聴きください〉と紹介。



2 番 野中正輝〈20 代の方です。アコーディオンを習うきっかけはジブリの「人生のメリーゴーランド」を弾けたらというもので、今日は「サウンド・オブ・ミュージック」の中から 2 曲「エーデルワイス」と「私のお気に入り」を演奏します〉と紹介。

「エーデルワイス」はソロで、2 曲目は関先生（左手ベースを担当）との二重奏です。2 曲とも蛇腹の動きがしっかりしていて音量もたっぷりでした。

3 番 山内 碧〈20 代の若者です。アコーディオンを始めるきっかけはロシア民謡です。1 曲目はソロで「家路」、2 曲目は関先生との二重奏で「カリンカ」を演奏します〉と紹介。

家路は、右手でメロディーを弾き、左はコードボタンをつなげていく演奏です。2 曲目は、山内さんがメロディーを、関先生は両手で、左手はベース、右手は鍵盤をコードの形で押さえる演奏です。

2 番、3 番、二人とも習い始めて間がないのにジャバラをたっぷり使って演奏されました。

4 番 「北国の春」は、演奏者が欠席のため講師の関先生が替って演奏。

5 番 田村謙治〈教室に入ってまだ半年です。今日は魔女の宅急便より「海に見える街」を演奏します〉と紹介。スタッカートぎみの演奏が記憶に残っています。しっかりした演奏で暗譜でした。

・・・休憩・・・

6 番 佐々木愛理〈佐々木さんは、現在岐阜から新幹線で通っています〉と紹介。曲は「ジェラシー」甘いメロディーがよく流れていました。

7 番 大淵 恵〈この曲は昔関先生が弾いていて、いつか弾きたいなと思った曲だそうです。今回の編曲は、必ずしも歌に沿った編曲ではなく、スイングジャズ版で演奏します〉と紹介。

東京ラプソディーを思わせる出だしで、テンポの速い編曲です。終わりをかっこよく決めていました。

8 番 川原暁子〈タンゴの名曲「エル・チョクロ」を演奏します。関先生の編曲は難しいところがあります。最後のかっこよさ、楽しさを表現できればと思います〉と紹介。

軽快なリズムの刻みに、中盤の速いメロディーの刻みも埋もれることなくきれいに音が出ていました。

9 番 岡本順一〈演奏曲は「ティコティコのフーバ」です。ノリノリのリズムが楽しい曲ですが、アコーディオン 1 台で弾くには難しい編曲です。曲名の意味は「トウモロコシ粉をついばむ雀」だそうです〉と紹介。

岡本さんは、いつも立奏で、しかも暗譜で演奏されるので十分弾き込んでいるのでしょう

感心します。力強く、勢いもあり、前へ前へと流れていく素敵な演奏です。

10 番 中級合奏「エレクトリカル・パレード」
五重奏（岡本・川原・大淵・佐々木・田村）

〈誰もがどこかで聴いたことのある曲ですが、軽快に弾くのは結構難しいです。笑顔で楽しさを表現できればいいな、頑張ります〉と紹介。

パレードなので行進曲ふうではあるけれど、力強く地面を踏みしめる行進ではなく、色とりどりに飾り付けられた乗り物や、着飾った踊り子たちが笑顔で練り歩く姿が浮かんできます。

・・・休憩・・・

11 番 ゲスト演奏 山田千賀子（ソプラノ）伴奏：関英昭〈1 曲目は、「私のお父さん」オペラ「ジャンニ・スキッキ」の中で歌われた曲です。2 曲目は日本の歌「母なる故郷」と紹介。プログラムの解説では、〈1 曲目、若い男女の恋について、様々なトラブルに巻き込まれ翻弄される中で素朴な感情と愛の思いを詩情を持って歌われる。2 曲目は、1953 年中央合唱団 14 期研究生の演奏会で披露され、その後広く歌われ愛されている歌〉と解説。



2 曲目は、♪ 母なる故郷よ こけ水のしたたりに 静まる山々 母なる故郷よ・・・と歌います。歌い終わって、メンバーの最年少（22 歳ですと紹介）から花束が贈られました。（拍手）

12 番 講師演奏 関英昭〈今回、発表会のプログラムの中にフランスの曲がないと教室生に指摘され、それでは僕がということで決めました。また、1 曲目は「愛の小径」愛し合う二人が、静かで美しい森の中の小径を、愛を語り合いながら歩いた思いで。そんなイメージを心に描きながら聴いてください。2 曲目は「ポール・ウナ・カベサ」両曲とも、土曜教室では、かつて合奏で披露していますが、関先生がソロで

弾くのは初めてになります〉と紹介。

演奏後、教室生から花束が贈られました。

13 番 全員合奏 「ダットン人（ホロベツツ人）の踊りから」〈この歌は望郷の歌です。「わが祖国は美しく広く自由の国だった」と歌います〉と紹介。関先生は指揮にタンバリンを取り入れていました。

アンコール〈曲は「ハロー・ドーリー」。この曲は、ルイ・アームストロングが各地で歌いヒット曲になった歌です。「お帰りなさい。ずいぶん立派になって帰ってきたね。！また昔のように楽しくやろう！」と歌います〉と紹介。

《演奏前に関先生から一言》

「お忙しい中来場いただきありがとうございます。まだまだ、アコーディオンを習って半年とか 1 ヶ月とか初見に近い人もいる中、みなさん初舞台で胸がドキドキだったと思いますが、よく頑張ったな、とか、演奏楽しめたなとか、若い人は立派だなと思いました。今後もよろしく願いいたします。

大変な時代ですけれども、笑顔で乗り越えて前向きに頑張っていこう！ということで、後打ちの手拍子をしていただければいいな」と挨拶され、出だしから会場の手拍子で演奏されました。

全体にみなさん演奏している姿勢がきれいな点と、蛇腹をしっかり動かして空気をたっぷり使っているのが、ホールいっぱいに音が広がっていました。

中部土曜教室は、発表会に使われた音楽センターで練習されています。新宿なので、生徒には若い方も多く元気がよい反面、仕事の都合等で 4 年ぶりとなると、生徒が入れ替わるのも教室の特徴と言えるかも知れません。土曜教室で練習されて巣立って行かれた仲間はこれまでに沢山おられると思います。（記：乙津）

スタッフと一緒に記念撮影



“ふれあい こんさあと” Vol.39 VIVA:ACCORDION

2025年6月1日(日) PM1:00 開演 松原市文化会館

主催 全関西アコーディオン協会(略称 AAA)・ビバ・アコーディオン実行委員会

今年も“ふれあい こんさあと” ビバ・アコーディオンを聴いてきました。1年ぶりにお会いするみなさんですが、受付けを済ませ渡されたプログラムを拝見すると見覚えのある演奏団体にまぎって初めてと思われるユニット名もみられたり、また、今年9月に開催する関東アコに出場される方もおられて演奏の開始が楽しみになりました。

開会あいさつ 吉田親家 ビバ・アコーディオン
実行委員長/A A A前会長



「発表する場が年1回ですけれども続けていくことで成長できる。アコーディオンという楽器は、左のボタンでベース、コントラバスですね、これとコードボタンでチャッチャチャッチャと一人で伴奏の役を果たせる楽器です。慣れるまでに時間のかかる楽器なので興味を持たれた方は続けていくことが大事です。今日はアコーディオンを楽しむ一日にして下されば幸いです。」とあいさつされました。

司会 廣内秀子・・・「ロビーにてトンボ楽器さんの楽器の展示、そしてアンサンブル・ミュージックさんの楽譜の展示がごさいます。休憩時間などに覗いて頂いて、アコーディオンは触っても大丈夫音出しも大丈夫です。経験してみてください。」とお知らせ。

〈ご案内〉小林真奈美さんの自己紹介・・・『初めてまして神戸市出身、東京在住の小林真奈美と申します。



「TOKYO ベイアコ」で去年の夏からアコーディオンの修理・調律の勉強を行っておりますが、イタリアでも学びたいと、今年の10月にチャレンジするためにカンパ、クラウドファンディングをチラシでお知らせしています。ご協力いただけたらありがたいなとお知らせの機会を頂きました。皆様の素敵なアコーディオンライフが安心して支えられるようになりたいと思っています。』と募金の呼びかけがありました。

(記事の最後にプロジェクトの概要記載)

プログラムは第1部【合奏】、第2部【独奏】、第3部【重奏・アンサンブル】の構成です。以下プログラム順の紹介です。〈 〉内は司会からのコメント。

第1部【合奏】司会：廣内秀子(1部・2部・3部通して司会)

1番 「ばすたらあるアコ」7人(奈良)演奏曲はベートーベンの「メヌエット」と「聖者の行進」(2曲とも編曲：吉田親家)メヌエットでは左側にベース

ギターの配置でした。聖者の行進は席を変えて演奏され途中は会場も後打ちの手拍子で参加しました。

〈昨年奈良アコーディオン愛好会が解散したので、奈良唯一のアコーディオンサークルになりました。月2回例会を行い、社会福祉協議会に登録をして月1回のボランティアを行っております〉



2番 「泉北アコーディオンサークル」(大阪)曲は「小さな木の実」(編曲：向井愛子)とSLは行く、汽車ぽっぽ、かかし(汽車のメドレー)(作曲：本居長世 編曲：伴典哉)

「小さな木の実」はメンバーの向井愛子さんの編曲です。草原に寝転び吹き抜けていく風にゆっくり動いていくぽっかり浮かんだ雲をながめているようすが浮かんできます。

2曲目は「汽車ぽっぽ」(♪汽車汽車 ぽっぽ ぽっぽ・・・)で始まり、「かかし」(山田の中の 一本足のかかし・・・)、汽車(今は山中 今は濱 今は鉄橋渡るぞと・・・)かわいい終わり方です。



3番 「京阪アコーディオンクラブ」(大阪)曲は「ナオミの夢」と「デイ・ドリーム・ビリーバー」(編曲：2曲ともメンバーの小野田幸嗣)

〈今年の10月26日(日)演奏会を催す予定です。「なおみの夢」は東京国際音楽祭でグランプリに輝いた曲だそうです〉

「ナオミの夢」♪一人見る夢は 素晴らしい君の踊るその姿・・・ナオミ Come back to me の歌詞が記憶に残る懐かしい曲です。青い譜面台紙でそろえて、蛇腹を“ボン”と叩いてアクセントを付けたり、楽



しく元気のいい演奏です。2曲目は、右に、左にと身体をゆ

らして聴いていました。

4番 「どい川文化の会アコーディオン教室」(大阪) 曲は「かっこうワルツ」と「金比羅船船」(編曲：2曲とも吉田親家)

〈「かっこうワルツ」は、かっこうの鳴き声を模した旋律で構成されています。メロディーがさえずりの音ですね。2曲目の金比羅船船は香川県の民謡で座敷遊びとして知られているそうです。7月6日(日)七夕コンサートを予定しています〉

「かっこうワルツ」はかっこうの鳴き声では始まります。トリルもあって、鳴き声のきれいな曲です。

2曲目はメロディーの後ろで大勢でよいしょ、よいしょと一生懸命ろをこいでいる情景が浮かんでくる編曲です。



5番 「NHK 文化センター神戸教室」(兵庫) 曲は「夏の思い出」と「夜のブラットホーム」(編曲：2曲とも杉村壽治)

〈杉村先生がお亡くなりになられた後、この教室が再開して1年4ヶ月、今では新しい方も増えにぎやかになってきました。「夜のブラットホーム」は、杉村先生の教える組で楽譜を頂いておりましたが、初のお披露目となります〉



2曲目は、昭和22年(筆者の生まれた年)に二葉あき子の歌によって大ヒットします。筆者が小学生の頃ラジオからよく流れていました。最後は汽笛のような音が伸びて終わる編曲です。

6番 「いちご音楽教室」(滋賀) 曲は「ラ・パロマ」(編曲：伴典哉) 独奏：橋本昇三と「THE SOUND OF MUSIC」(編曲：Pietro Deiro, Jr.) もう一曲「明日があるさ」(編曲：松永勇次)

〈今回有志のみなさんからの希望により初めてエントリーしました。講師としては嬉しい限りです。イ

チゴ音楽教室は個人レッスンで、合わせる機会が少ない中での演奏ですが、初チャレンジを試しますのを温かく見守っていただけると幸いです〉と紹介。



「ラ・パロマ」は、ソロの演奏です。写真は2曲目の様子。

7番 「関西アコーディオンクラブ」(大阪) 指揮：吉田親家 曲は「アルルの女・第一組曲よりプレリユード」(編曲：MAX FRANCY) と「明日に架ける橋」(編曲：中山英雄、木下そんき)。

〈ご多分にもれず高齢者集団になりつつある私たち、水曜の夜は楽譜を見つめ右手と左手を動かし側の人の音も聴き結構高度のリハビリをしていると思います〉



次の8番演奏前にメッセージが紹介されました。

『第39回の大会誠におめでとうございます。今年度より日本アコーディオン協会の理事長に就任致しました柴崎和圭です。この節目の回に当たり日本のアコーディオン界の礎を築き導いてこられた吉田先生を始め皆様の絶え間ないご尽力とアコーディオンや音楽への深い愛情を強く感じております。

昨年杉村先生のお別れ会に参加させていただきまして、先生の気さくなニコニコとしたお人柄を思い出します。先生の演奏スタイルは印象的で、懐かしさに包まれながらこの場を作っております。これからの皆様の学び交流を一層深めていきたいと願っております。どうぞ今日は思う存分アコーディオンの魅力をお楽しみ下さい。NPO 法人日本アコーディオン協会理事長 柴崎和圭』(メッセージの一部紹介)

8番 「松原アコーディオンクラブ」(大阪) 指揮：吉田親家 曲は「パリの空の下」と「サ・セ・パリ」

〈毎週土曜日午後隣の公民館で練習をしております、お茶とお菓子付きでお待ちしておりますので遠慮なく見に来てください〉 軽やかにパリの通りを練り歩



いているようです

・・・・・・休憩・・・・・・

第2部【独奏】9～11番は聴きそびれてしまい、演奏者の名前と演奏曲のみの紹介です。

9番 「新谷悠仁」(大阪) 弘龍庵大阪アコーディオンクラブ 曲は「EL CHOULO」(編曲:FRANK MAROCCO)

10番 木下まこと(京都) 宇根章浩教室 曲は「いつも何度でも」木下さんは今年の関東アコに早々と申し込まれました。9月の関東での演奏を楽しみたいと思います。

11番 阪田千恵(大阪) 弘龍庵大阪アコーディオンクラブ 曲は「Hungarian Dance No. 5」(編曲:堀部隆次)

12番 寺村安雄(大阪) ハーモニカ演奏 関西ハーモニカ連盟 曲は「セレソ・ローサ」(作・編曲:ペレス・ブラード) 得意のハーモニカ演奏で毎年出演されている方です。この曲は手品のバックミュージックで聴くことがあります。一本のハーモニカでアンサンブルのようにメロディーを弾きながらベース部や合の手を入れるなど素敵な演奏です。

13番 青木実(京都) 吉田親家京都教室 曲は「口笛吹きと犬」(編曲:堀部隆次)

〈作曲者アーサー・プライヤーが飼っていたロッキーという愛犬です。少年とロッキーの愛嬌あふれるシーンが描かれています。退職後、地域の歌うたいで演奏や伴奏をしています〉ビバ・アコを聴きに来ると懐かしい曲にたくさん出会います。

14番 増谷登志子(兵庫) 東灘区文化センター教室 曲は「トワイライト・タイム」と「第三の男のテーマ」〈子どもの頃、神戸の街角で聴いた曲。大人の世界をのぞき見たようでわくわくしました。今日は楽しんで弾きたいと思います〉

「トワイライト・タイム」は、お酒を飲みほろ酔い気分で身体をゆらしながら夕暮れの街を歩く、そんな情景が見える演奏です。2曲目はリズムに乗って軽くスイングした演奏です。

15番 太田裕子(兵庫) 藤林教室と林原教室 曲は「ブーベの恋人」(編曲:中山英雄)〈アコーディオン歴はかれこれ25年になりますが、ビバに出演するのは初めてです。緊張せず楽しんで演奏できたいいな〉ブーベというのは男性の名前と解説。落ち着いた丁寧な演奏です。

16番 小野寺彩香(大阪) 松原智美アコーディオン教室 曲は「バラード」と「スプリングダンス」2曲ともノルウェーの作曲家E. グリーグの曲です。

〈この3月で勤めを退職し、アコーディオンの講師としてやっていくことになりました。大好きな音楽

ができる嬉しい気持ちでいっぱいです〉

パイプオルガンのような重音でゆっくりと進行する深みのある演奏です。姿勢が良い。2曲目は初めて聴くけれど、軽やかな曲で、くり返せばいつまでも踊りが続けられそうです。

17番 土本義博(広島) 曲は「ラ・クンパルシータ」と「エル・クンバンチェロ」〈初めてこの会場で演奏したとき、その広さに圧倒されました。今日ここで弾けることを感謝しています〉土本さんは広島という遠距離にもかかわらず関東アコに時々出場されます。リズム感の良い方で楽器を腕の延長のように自由自在に操る指から生まれる音はとてもまねはできないけれど素敵です。暗譜で演奏されました。今年の関東アコにエントリーされたので、9月にもお会いできるので楽しみです。

18番 丸尾知子(神奈川) 曲は「海」(文部省唱歌 編曲:三枝成彰)と「I like this rhythm」〈出場は11回目です。フリーベースで演奏します。2曲とも都会的な楽しい作品です〉

「海」は♪海は広いな 大きいな・・・を途中ジャズふうアレンジされた変奏曲です。一瞬、子どもの頃に戻されます。

2曲目は初めて聴きます。丸尾さんの演奏は、パパガイオスのユニットでビバアコや東京でも聴いているけれど、とてもしっかりした演奏でなんと言っても音がきれいです。気持ちよくうきうきと動き出しそう。

※皆様こんにちは、東京から来ましたファンキー手風琴といいます。私たちは去年この小さい26鍵48ベースの楽器でも弾けるんだよっていうことを試みました。(小川さんガルパン三世のテーマ曲を試奏)重量は4.5キロです。二人合わせても8、8キロです。と第3部準備の間ミニアコーディオンの紹介。

・・・・・・休憩・・・・・・

第3部【重奏・アンサンブル】

19番 「Funky ミニ手風琴」(東京) 小川正浩 本田千香 曲は「ホルスト〜ジュピター」(編曲:本田千香)〈26鍵48ベースの小型アコーディオンで演奏。



壮大な曲をどこまで再現できるかお楽しみください〉大きさは小さいんだ腕前なんだと思いますと、司会の感想です。

20番 豊中アコーディオンサークル「ポンポコリン」(大阪) 山崎ゆり子 浅井真由美 曲は「ビバルディの四季より“冬”と“春”」〈月2回公民館を借り



で練習しています。なじみのある曲だけに、イメージ通りに弾けなくて苦労しました。ベースの刻む音がきれいです。

21 番 東住吉ミニルームアコーディオン教室（大阪）



高橋美智子 稲村二一 曲は「ゴンドラの歌」（編曲：木下そんき）と「メリーウィドウ ワルツ」（編

曲：檜山武雄）

〈東住吉区のミニルーム音楽スタジオで始まった教室です。数年前にルームが閉鎖になり、今は会員宅で練習しています〉

22 番 ペンシェーロ（滋賀）木谷千加子 西本相伸



曲は「ティコ・ティコ」（編曲：吉田親家）〈西本さんは大阪在住なので滋賀県と大阪市での練習は Web で合わせているそうです。老人ホームで定期的に演奏（ソロ、伴奏、リズム遊び）などやっています〉

デュオは 13 年ぶりとのことですが息の合った素敵な演奏です。

23 番 弘龍庵大阪アコーディオンクラブ（大阪）新谷悠仁 阪田千恵 阪田光恵 大江光代 大江寿朗（ピアノ・指揮）曲は「Over the rainbow×悲愴」と「Remember Me」（編曲：2 曲とも大江寿朗）〈1 曲目は、2 曲を組み合わせた面白さを表現しています〉毎回出場されて、爽やかな演奏です。



24 番 「アンサンブル・フラウェン」（奈良）岩野努 長谷部和代 丸山淳子 曲は「トランペット吹きの休日」（編曲：岩野努）と「アルベニスのタンゴ」（編曲：藤林克壽）

〈去年解散した奈良アコーディオン愛好会のメンバー 3 名で、解散後もアンサンブルに取り組んでいます。アルベニスというのは作曲家の名前〉



曲は「トランペット吹きの休日」（編曲：岩野努）と「アルベニスのタンゴ」（編曲：藤林克壽）

最初の曲は、運動会の入場行進に使われそうなリズムとメロディーです。「アルベニスのタンゴ」は所々聞覚えのある旋律が出てきて懐かしさを覚えめました。終わり方もきれいです。

25 番 おかんとおとん（大阪）芝房子 二村郁子（アコ） 田中幸男（ギター） 曲は「ひまわり」と「OBLIVION」〈月に 1 度程度お年寄りの集まりなどの訪問を行っております〉おかんとおとんも毎回出



場されている団体の一つです。映画「ひまわり」を観賞された方は多いと思うので、演奏を聴くと皆さんそれぞれのワンシーンを思い出されたのではないのでしょうか。

26 番 パパガイオス（神奈川）丸尾知子（アコ）矢田伊織（エレキベース）曲は「Adiós Nonino」と「Sivucando no Frevo」（編曲：2 曲とも丸尾知子）〈夫婦での出演、今年で 4 回目です。ビバアコで演奏



できることを楽しみに神奈川からやってきました〉細かい音をとても丁寧に豊かに響かせ最後にふさわしく素敵な演奏でした。

閉会挨拶 木下直紀

「本日はご来場、遠方からのご出演、協賛、誠にありがとうございました。事務局は初めての経験ですが、みなさんお力添えありがとうございました。次回は記念すべき 40 回になります。これまで続けてこられたイベントを引き継いでいきたいと思います」と挨拶。拍手の中終了となりました。

=写真掲載：主催承認=

（記：乙津）

アコーディオンの修理・調律師になるためにイタリアで修行します。

小林真奈美

プロジェクト概要 支援募集

クラウドファンディングは 6 月 16 日まで、以降は下記にて受け付けております。

三菱 UFJ 銀行 成田空港支店

普通 3141000 コバヤシマナミ

※ただし返礼品のご対応はできかねます。

企画 バイアコ+rosso

Bayacco.rosso@gmail.com

第 19 回音楽センター 柴崎和圭アコーディオン教室 演奏発表会

2025 年 6 月 8 日(日) 開演 13 : 30 新宿区立牛込筆筈区民ホール

19 回目の発表会に足を運んでみました。プログラムは二部に分かれて、途中休憩が入ります。オープニングとエンディングが合奏で、独奏が続く中にいくつか二重奏が混ざる構成です。演奏者からのコメントや曲についての解説はなく、司会が演奏者と演奏曲名を紹介すると演奏が始まります。

【第一部】

1 番 は二重奏（島田彩乃・柏原智章）曲は「Indifference」（編曲：D. Dobrotina）

柏原さんが本メロディーを、島田さんはサブメロディーと左手で 3 拍子のリズムを刻み、遊園地のコーヒーカップがくるくる気持よく回っているような情景が浮かんできます。

2 番 中村苑子 曲は「パリの空の下」

ボタンアコを使っていました。ミュゼットトーンだったと思います。パリは憧れの街なのでしょう楽しそうに弾いていました。

3 番 田村ひかり 曲は「ドナドナ」

村田さんもボタンアコで演奏されました。一つ一つのフレーズの終わりが丁寧な演奏でした。

4 番 今井利幸 曲は「LA PALOMA」（編曲：W. Shibasaki）

今井さんはいつもよく似合う帽子着用して登場するおしゃれな方です。姿勢が良く八十を越える年齢を思わせない演奏です。

5 番 武富優実 曲は「海の見える街」

海の見える丘の上に経ち口笛を吹いているような景色が浮かんできます。白いボディーでジャバラを開くと赤い布地が見えて演奏している姿がきれいです。

6 番 石田 緑 曲は「フランス組曲第 3 番よりジーク」バッハの曲です。フリーベースできれいな演奏です。

7 番 藤沢由紀子 曲は「ある日の恋人たち」

藤沢さんもボタンアコです。楽器のボディーは黒、ジャバラは白、開くと赤い布地が見える組み合わせです。初めて聴く曲です。フィニッシュでジャバラをいっぱい開いたときとてもきれいでした。

8 番 谷田部茂徳 曲は「仲間を求めて」（編曲：W. Shibasaki）

谷田部さんもボタンアコです。聞き慣れない曲だ

ったので自宅で調べたら、ファイナルファンタジーというゲームの中で使われている曲だと知りました。

9 番 柏原智章 曲は「ミュゼットの女王」

ミュゼットトーンで演奏。柏原さんの楽器もカラフルです。白い本体に白いジャバラ、開くと黒い◇（菱形）の線が浮き出てきます。3 拍子のリズムに乗って軽快な演奏です。ハンググライダーに乗って空の上からパリの街を眺めているような気分になります。

10 番 二重奏（高橋絢子・柴崎和圭）曲は「TALJANSKA Osidanje」

出場予定の相方（岩元さん）が欠席となり急遽講師の柴崎先生との重奏になりましたとコメントがありました。

高橋さんはメロディーを、柴崎先生はベースパートとサブメロを担当。3 拍子の優雅なメロディーです。途中から低音の入ったスイッチに変えてゆったりと歌います。初めて聴きましたが、夢を見ているような感じもするし、空に浮かぶ雲がゆったりと流れている下で遠く離れて暮らす友を想っているようにも聞こえます。

11 番 小暮町子 曲は「美しく青きドナウ」（編曲：柴崎和圭）

J. シュトラウスのよく知られた曲です。イントロの変わった編曲です。

12 番 若松 紀 曲は「トルコマーチと子犬のワルツ」（編曲：C. Magnante）

2 曲とも軽快なリズムに右手が羽音のように動く素敵な演奏。途中スウィングしていた子犬のワルツも素敵でした。

13 番 鈴木みゆき 曲は「Ambiance musettienne」

初めて聴く曲です。軽快な 3 拍子の曲です。音の粒がはっきりしていてきれいな演奏です。

14 番 渡部由美子 曲は「ソナタ第 2 番第 1 楽章」

フリーベースで演奏されました。この曲も初めて聴きます。アラブ系を感じさせる旋律です。ペルシャの市場だったり、トルコ行進曲であったり、どこか感じるメロディがちょこちょこ出てきたり、小鳥のさえずりのようでもあり、らくだの商隊のラッパのような音も、ジャバラシェイクもあり、楽しい曲でした。終わり方も変わっています。作曲は V. ゴロタリョフと記されています。

・・・休憩・・・

【第二部】

15 番 二重奏（小林のり子・石垣真里子）曲は「雨上がり～アコーディオンデュオのために～」

石垣さんはスタンダードベースで、小林さんはフリーベースで演奏。アルプスの麓に寝転んで流れる雲をながめている、そんな情景が浮かびました。

16 番 栗原美和 曲は「モーツァルト再来」

フリーベースで演奏。子守歌を感じさせる左手の低音メロディーがきれいな曲です。

17 番 鈴木麻紗子 曲は「古いスタイルの曲」

ボタンアコで演奏。テーマを様々なバリエーションでくり返されるきれいな曲なので、一度弾いてみてください。

18 番 鳥居信広 曲は「銀河鉄道 999」（編曲：W. Shibasaki）

ボタンアコです。電車の運転手のように上下白の服に帽子を着用して登場、譜面台も白で揃え、シュ、シュと聞こえるリズムが、汽車に乗っているようです。

19 番 千田康司 曲は「Anantango」

マイクも使用していないのに会場に響くハリのある音が素敵です。ベローシェイクのような音を右手の動きで作っていたのが印象に残っています。

20 番 鈴木節子 曲は「ALL OF ME」「On the sunny side of the street」（編曲：A. Jokic）

ジャズの懐かしい曲です。両足でリズムを取って安定した演奏です。

21 番 除村 裕 曲は「サン＝ジャンの私の恋人」「イワシのポルカ」（編曲：W. Shibasaki）

おもしろい曲名です。イワシの群れが海の中で右に、左に向きを変えて泳いでいる情景なのだろうか。

22 番 伊東直美 曲は「Night Express」

遠くで鳴る汽笛のような音で始まります。鍵盤をなめるようにとは、この方のような指の動きを言うのだろうか、ベローシェイクをやりながら羽音のような演奏です。

23 番 高橋絢子 曲は「SAMANTHA-VALSE」（編曲：Gabriele ANTONACCI）

帽子が似合います。三拍子の曲で、初めて聴きます。フルートのような音色のきれいな演奏です。

24 番 石垣真里子 曲は『アニメーション「チェブラーシカ」より誕生日の歌』（編曲：y. ЮТИЛЫ）

後半、スイッチを変えてコロブチカのように次第にテンポを上げていく演奏はとても綺麗です。

25 番 関 恵美 曲は「Autum Leaves」

軽やかにスウィングした「枯葉」の演奏です。

26 番 島田彩乃 曲は「STORIE INVENTATE」「DANSE CHRONIQUE」

どちらも初めて聴きます。1 曲目は比較的ゆっくりなテンポだけど 2 曲目は右手の忙しい曲です。

27 番 小林のり子 曲は「アラベスクより No. 6・7」

フリーベースです。深い森の中でふくろうが鳴いているような旋律が印象に残っています。

28 番 水野美緒 曲は「シェルブールの雨傘」（編曲：デルベンコ）

暗譜です。映画のシーンを浮かべた方もいると思うけれど、切ない想いが良く表現された演奏です。1 小節の中にいくつ音符が入っているんだろうか、右手の指が流れるように動いていた記憶が残っています。最後は糸を引くようになんと素敵な終わり方です。

29 番 二重奏（若松紀・渡部由美子）曲は「組曲『仮面舞踏会』よりワルツ」（編曲：A. クズネツォフ）

二人とも金色でフレームの両端が耳のようにとがったベネチアンマスクを付け、若松さんは赤いスカートに白い楽器、渡部さんは金色のスカートに黒い楽器で登場。色の取り合わせも絵になっていました。三拍子の軽快なリズムの演奏で会場を楽しませ最後を飾りました。

講師挨拶 柴崎和圭

『いつも聴きにきて下さる方々や、今日初めて聴きにいられた方もいると思います。アコーディオンはいろんな人がいろんな曲を演奏できる素晴らしい楽器です。これからもずっと続けていきたいと思います。次は 20 回目、又お会いしましょう』と挨拶。

参加者は、この後記念に集合写真を撮られました。
＝写真：主宰提供＝

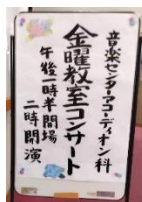
ボタンアコを使われる方、またフリーベースを使われる方が増えてきました。ホールの後ろの席で聴いていたけれど、マイクを使わずにみなさんとても良く音が届いていました。（記：乙津）



金曜教室コンサート

音楽センターアコーディオン科 中部金曜教室 2025 年 6 月 29 日(日)開演 14:00 なかの芸能小劇場

金曜教室は、音楽センターアコーディオン科の教室の 1 つで金曜日の夜音楽センターで練習しています。



筆者の所属する南部教室もその中の 1 つですが、それぞれ特徴があって楽しめるのでお互いに聴きに行くなど交流を続けています。

プログラムを見ると、前半と後半に分かれ、それぞれが前半で 1 回、後半で 1 回独奏します。また、前半も後半も最初と最後が全員合奏の構成です。以下プログラム順に紹介します。

＝舞台写真：主催提供＝

司会 石橋友子 文中〈 〉は司会のコメントです。
満席での開演となりました。

オープニング(全員合奏)「デイドリーム ビリーバー」
(編曲：森陽介)〈「デイドリーム ビリーバー」は、過去の幸せな日々を回想しそれを今も感じ続けている様子を演奏しています〉

楽しい歌詞ではないと思うけれど、聴いているとじっとしてられない、つい身体を動かしたくなる乗りの良い曲で開幕しました。



2 番、重奏(上野玲子・森陽介) 曲は「ワーク」

森先生のカノンのようなくり返しで進行するベースに、清流の水面がきらきら光りながらやがて大河へと流れていくような感じで上野さんのメロディーが重なります。また、踊りの輪が次第に大きく広がって行くようにも感じました。



3 番、田中積 曲は「私の回転木馬」
(編曲：松永勇次)〈91 歳の田中さんは重いアコーディオンを抱え暗譜で演奏します〉

田中積さんの愛用の楽器はエキセルシャーの 120 ベース、大型で

す。

4 番、宇野綾子 曲は「3 つのアメリカ民謡」(編曲：チャールズ・マニアンテ)



〈チャールズ・マニアンテ教則本に掲載されアコーディオンの音色に合った三曲のメドレーです。演奏者の宇野さんは「特に 3 曲目の Nellie Was a lady が好きになりま

した。歌詞を調べると悲しい曲なのに長調で書かれたメロディーです。3 つの曲のそれぞれのリズムをを大切にしながら練習してきました」とおっしゃっています〉

5 番、鈴木正美 曲は「いつも何度でも」(編曲：松



原智美)〈映画「千と千尋の神隠し」で歌われた曲です。鈴木さんは『ジブリの曲の中で一番好きな曲、映画のシーンを思い浮かべて聴いて頂けたら嬉しいです』とおっしゃっています〉暗譜で演奏されました。チャッチャチャと刻むベースが記憶に残る演奏です。

6 番、佐藤将 曲は「アイラブユー」(編曲：佐藤将・森陽介)〈1983 年にリリースされた切なさと温かさを感じさせるメロディーが印象的なラブソングです。優しくてはかない旋律から始まり、さびの部分では感情が抑えきれずにあふれ出すような盛り上がりがあります。また、佐藤将さんはこの曲が弾きたくてアコーディオンを始めたそうです。「何度弾いても一番好きな曲です。沢山の人にこの曲の良さを感じて欲しいので心を込めて演奏します...」とおっしゃっています〉

筆者の記憶では毎回暗譜して立奏です。メロディーが綺麗に流れていて目を閉じて聴きました。

7 番、佐藤吉子 曲は「ムーンリバー」(編曲：フランク・マロッコ) 演奏の前に演奏者からのメッセージがありました。



〈「去る 4 月 12 日私が所属している大田区あじさいコーラスの 40 周年コンサートはおかげさまで大成功となりました。20 名の女声合唱をピアノ、アコーディオン伴奏で聴いていただきまし

た。初めてアコーディオン助奏付きの合唱を聴いたお客様から『こんなにアコーディオンが合唱の助奏に合うとは』と驚きの感想をいただき、アコーディオンの力を再認識しました」とおっしゃっています〉

もう少し音量が欲しかったけれど、感情のこもっ

た演奏でした。

8 番、ゲスト演奏 山田千賀子（ソプラノ）伴奏：森陽介 曲は「チェルノブイリのコウノトリ」と「キエフの鳥の歌」。

1 曲目、『チェルノブイリの森はあの忌まわしい事故が起きるまではコウノトリが沢山住んでいました。子育てにその森はにぎやかでした。とても美しく幸せな森だったんです』と、歌手の語りがあり一呼吸置いて前奏が始まります。♪春めくチェルノブイリにコウノトリが帰る・・・と歌います。



2 曲目、『ロシアがウクライナの街を侵攻し始めてもうすでに 3 年 6 ヶ月になります。キウイの街は未だにがれきのままで、子どもたちはこれから一体どうすればいいんでしょう』の語りを引き取り前奏、そして♪果て無き空のかなたに美しい鳥は飛ぶ・・・と歌います。歌い終わったところで花束が贈られました。

9 番、全員合奏 曲は「ラ・クンパルシータ」〈元々はカーニバルの行進曲として作曲され、曲名は、小さな行列という意味です。歌詞は、年老いた母の元を去り恋人を追いかけるも夢破れ、戻った我が家に母の姿はなく、年老いた自分の臨終に聞く遙かな母の声、という歌のようです〉

ベースに講師が加わり 7 名で力強い演奏でした。



・・・休憩・・・

後半は 10 番、全員合奏 曲は「薔薇のタンゴ」（編曲：中山英雄）で始まりました。〈この曲は 1928 年頃に作られたコンチネンタルタンゴです。映画「カサブランカ」にもこの歌が歌われるシーンがありました。薔薇を愛するみたいに私を愛して、私を摘んで、私はあなたの花、私はあなたの薔薇、と切ない想いをタンゴに乗せています。中山英雄先生の曲への想いを大切にしながら練習してきました〉

音も安定していてしっかり響いていました。

11 番、佐藤将（弾き語り） 曲は「かけがえのない時」（作詞・作曲：佐藤将）佐藤さんからのメッセ

ージです。〈『この世界には様々なラブソングがあります。情熱的な愛の歌、ちょっぴり切ない恋の歌、甘酸っぱい初恋の歌、いろいろなラブソングを聴いたり歌ったりしているうちにいつか自分でも作ってみたいと思うようになりました。みなさんにこれから聴いていただく「かけがえのない時」は、初めて自分で作詞・作曲したラブソングです。この歌は、あまり幸せではない人生を生きていた青年が恋人と出会ったことで自分の世界観が大きく変わった事に気付き驚きや喜びに包まれている状況をストレートなタッチで表現したものです。2 番の歌詞では、例え困難にあっても恋人と一緒に乗り越えられるという決意を描きました。ラストの語りかけるようなフレーズは、かけがえのない時をくれた恋人への感謝のメッセージです。情景を思い浮かべながら聴いて頂けると嬉しいです』とおっしゃっていました〉



いです』とおっしゃっていました〉

♪あの日君と出会い・・・と歌います。

夢を持って生きる人生ってすばらしいことだと思います。佐藤将さんは、初めてのことに挑戦する情熱とエネルギーを感じさせます。

12 番、上野玲子 曲は「ジャンバラヤ」（編曲：松永勇次）〈この曲はタンブリン歌手のハンクウイリアムズが 1952 年に発表した楽曲です。タイトルはアメリカ合衆国南部のルイジアナ州の料理ジャンバラヤ



から付けられた名前だそうです。米を肉や野菜と一緒に炒めてから炊き込むピリ辛の炊き込みご飯です。歌詞にも、さあさみなさんいかがです？ジャンバラヤ一度食べたらやめられない... 陽気な曲です〉楽しくリズムカルな演奏でした。

13 番、鈴木正美 曲は「枯葉」鈴木さんからのメッセージです。〈『シャンソンの名曲で憧れの曲でしたが、少しハードルが高い思いもありました。家族のリクエストに背中を押されて取組み始め、弾き込んでいるうちに中山英雄先生の編曲に魅了されこの曲が大好きになりました。心を込めて弾きたいと思います』とおっしゃっています〉

暗譜で弾いていました。譜面を頭の中で追っていたのでしょうか、じっとどこかを見つめて弾いていたように感じました。退場の際には素敵な笑顔を見せていました。

14 番、宇野綾子 曲は「愛のあいさつ」（編曲：江森登）宇野さんからのメッセージです。〈『教室での練習やグレードテストなどを通して素敵な曲との出会

いがありました。その中の1曲が「愛のあいさつ」です。私がこの曲を練習していると、お互いの温かい気持ちと揺るがない信頼の大切さを感じます。そして毎日の仕事や生活と向き合う時に思わず口ずさんでしまう曲になりました』とおっしゃっています)

想い入れのある曲だけに良く弾き込んでいる様子が伝わってきます。流れるような素敵な演奏です。

15 番、田中積 曲は「さらば友よ」(編曲：中山英雄)〈この曲はアルゼンチンタンゴの名曲です。スペイン語の「アディオス・ムチャーチョス」の方が通りが良いようです。死の床にある男が友達に別れを告げるという悲しい歌詞の曲なので、当初は不吉ということであまり演奏されなかったそうですが、今やタンゴを代表する名曲となりました〉重いアコを抱え、91歳とは思えない立派な演奏でした。

16 番、歌と演奏 曲は「又逢いましょう」歌(山田千賀子)伴奏(佐藤吉子・森陽介)

プログラムに挟み込んだ楽譜と歌詞をみながら、山田さんが1番を歌い、その後もう1度前奏を入れて1番と2番を会場のみなさんと一緒に、♪また逢いましょう また逢いましょう 初めて会ったこの町で また逢いましょう・・・とうたいます。

17 番、講師演奏(森陽介) 曲は「ジノが七弦ギターを弾いている」(作曲：シブーカ)

森先生からのメッセージです。〈『以前音楽センター南部教室にいらした細谷道子さんに教わったブラジルの曲です。陽気なメロディーにひかれました。イントロとして、アコーディオンの練習曲の一部を演奏します』とのことでした)

明るく軽やかに、ステップを踏みたくなる陽気な曲です。

18 番、全員合奏(エンディング) 曲は「白樺」(編曲：中山英雄)〈ロシアで最も有名なワルツの一つで、この教室でもくり返し演奏してきました。以前この教室を指導して下さった中山英雄先生の編曲です。中山先生は昨年7月12日に旅立たれました。中山先生から教えて頂いた「音楽と平和は車の両輪だ。平和がなければ音楽はできない」ということをしっかりと胸に刻み演奏してまいります〉中山英雄先生の奥様光子さんが会場にいらして下さっています。と拍手で紹介を受けていました。〈先生のお写真と一緒に一緒に聴いていただき感謝でいっぱいです。先生聴いて下さい、頑張ります)

演奏曲「白樺」紹介の後、演奏の前に教室の代表からお礼のあいさつがありました。

あいさつ(鈴木正美)『私たちの教室は小さな教室で

す。でも、宝物があります。その宝物の一つは田中積さんです。(拍手)91歳です。アコーディオンを続けるだけでもすごいと思うんです。



した。』(拍手)

『二つ目は、中山先生の作ってくださった素晴らしい曲をたくさん持っています。今日の合奏曲「ラ・クンパルシータ」、それから「薔薇のタンゴ」、これから演奏する「白樺」も中山先生の編曲によるものです。中山先生は私たちの教室で40年以上ご指導くださいました。私たちはこれからも、中山先生の編曲の素晴らしさを演奏を通してみなさんに伝えていきたいと思います。』

『三つ目は、スタッフに恵まれていて、今回も、三多摩教室OBの方、三多摩教室の方々、金曜教室OBの方、それから今回は土曜教室の方もお手伝いしてくださいました。その方々はいつも、「何でもやるから、安心して舞台に集中してね」と言ってくれ、そういう支えがあって何とかここまで来られました。感謝感謝です。』

『四つ目、温かく演奏者を見守り、惜しみない拍手を送って下さいました会場のみなさんの支えが大きな宝物です。お身内の方・お友達・アコ仲間の方々、これらもどうぞよろしくお願いいたします。』(拍手)

『最後になりますが、私たちの教室にとってとても嬉しい事がありました。6月に一人新しい方が入り教室生が7名になりました。その方はアコーディオンが初めてで新鮮な空気を送ってくれています。これからも仲良く演奏を楽しんで行きたいと思います。今日は本当にありがとうございました。』

司会・・・〈では最後、聴きに来て下さった方への感謝を込めて「白樺」を演奏致します)

各パートの音が重なり合うことで作り出される深みのある素敵な演奏に会場からひととき大きな「ブラボー」の音が響きました。

拍手に応えて、指揮者から『みなさんの力を借りて、我々も力を出し切って最後を閉めくりたいと思います』と言あって、「おおシャンゼリゼ」を1番、2番、3番とありますが、2番と3番の間に短い間奏を入れて、明るくにぎやかに歌い幕を閉じました。

(記：乙津)

アコーディオンサークル Ne!風琴
雨上がりの好天の下楽しんで演奏しました
とっておきの音楽祭 SENDAI 2025 2025 年 6 月 1 日(日)
会場：勾当台公園、宮城県庁前 他、全 26 ステージ

宮城県名取市で活動しているアコーディオンアンサンブルの Ne!風琴です。

去年は雨天のため泣く泣くキャンセルした“とっておきの音楽祭”。前日までの雨が嘘のように上がり、今年は仙台市の「錦調公園いこいの広場」をステージに演奏することができました。9 番目の登場で（15：00～15：30）が演奏時間でした。

今年は、色をテーマにして、「どんな色がすき」「白い恋人たち」「黒猫のタンゴ」「赤いスイートピー」「蒼空」「虹の彼方に」の6曲を選定し、その頭とおしりに「ドラゴンクエスト序曲」と「涙をこえて」を加えて計8曲演奏しました。

小品による30分の演奏でしたが、雲が押し寄せてきても演奏が始まると日差しが照りつけ、風もそれほどなくてとても気持ちよく奏することができました。リードボーカルや指揮をする予定だったメンバーが体調不良で欠けた中、残りのみんなで力を合わせました。腕はなかなか上がりませんが、これからも響き合う音色を楽しみながら活動したいと思います。



※今年の6月1日(日)は、大阪で開催された「ふれあいこんさあと ビバ・アコーディオン」と重なり仙台に足を運ぶことができず、Ne!風琴のみなさんに様子を寄稿していただきました。

いつも出場していた「フレンズ・ドリーム」さんは、15 番のステージで1 番目（11：00～11：30）に演奏されたようです。（編集部）

アコ太郎 report

第 2 号

2025 年 6 月 22 日(日)
発行責任者/石川晃雄
☎&FAX 0243-23-4460

暑中お見舞い申し上げます。お元気ですか。

「アコ太郎 report」第 1 号 (2024 年 8 月 18 日)
発行以降の近況をご報告します。

なお、このほど地元二本松市の社会福祉協議会に「アコーディオンのアコ太郎(アコ太郎一座)」としてボランティア団体の登録をしました。

年金者「うたう会」16年め

二本松年金者の会「うたう会ひまわり」は月初めの水曜日午後二本松市勤労者研修センターを会場に歌い続けて16年になります。



4 月例会で歌う参加者のみなさん

現在は、私が主に企画、アコと

ギター2人で伴奏。毎回15人ほど集まり15曲ほどを歌っています。

前半は、主に季節の童謡・唱歌など、後半は企画もので、最近では谷川俊太郎さん追悼で「死んだ男の残したものは」、その縁で武満徹さん「小さな空」。小椋佳さんの「愛燦燦」、関谷敏子さん(後出)ともステージで歌った藤原義江さんの「出船」などを歌いました。

5・6月の例会では、二本松ゆかりの著名なソプラノ歌手関谷敏子さんを取りあげ、100年近く前昭和3年吹き込みのSPレコードを観賞、「宵待草」などを歌ったりして偲びました。

「いい湯だな」施設でレク



施設での演奏するアコ太郎一座
(ともちゃん・一三・太郎・花子)

「お話相手ボランティア」の活動を通じて市社協とも縁ができ、ディサービスセンターのレクリエーションへのオファーがくるようになりました。

ディサービスセンター二本松(杉田)へは、昨年9月に4回、今年5月に3回の計7回、ディサービ

スセンター安達でも昨年10月に公演しました。

お帰りまでの小1時間、アコ太郎&花子・ギターともちゃん、ボーカルひいふうみいさんで、マジックなども交えてやっております。施設では入浴サービスもやっており、先日「いい湯だな」の替え歌をやってみたら、スタッフさんも加わって大いに盛り上がりました。



「すずむしコンサート」(安達公民館)

安達公民館企画のミニ・コンサートに手をあげ、昨年9月6日「すずむしコンサート」を行いました。

パリ・オリの時期とあって「愛の讃歌」などシャンソンを中心に曲目を組みました。

また、元のアコ仲間Sさんから声がかかって「つながるカフェ」(市第2包括支援センター主催、特老あだたら荘、隔月)に参加させてもらい、この間3回ほど「乱れ髪」などSさんが吹くピアノの演奏をサポートさせてもらいました。

「ふれあいコンサート」に参加

昨年11月23日玉川村川辺公民館で開かれた「里の秋ふれあいコンサート」(県南アコ研主催)にギタロウさんと共に参加「うたう会」の部の伴奏にもご一緒しました。

ファミリーの関係では…。昨年末帰省した長男(バイオリン)・孫(クラリネット)と「G線上のアリア」「ユモレスク」「荒城の月」「エーデルワイス」などの合奏を楽しみました。



ファミリーで合奏(12.29/30)

昨年、JAAから軽量のヤマハ21B(赤)を斡旋していただき専ら愛用しております。

「関東アコーディオン演奏交流会 実行委員会ニュース」によると9月21日(日)東京北区・滝野川会館で「第37回関東アコーディオン演奏交流会」(独奏の部)が開かれるとのことです。出演希望者は参加費7,000円、申込〆切7月31日。協力金・プログラム掲載広告なども募集しているとのことです。



★地方受講生も募集！一緒に名曲を奏でよう★

【JAA】合奏講座 参加者募集



JAAでは「仲間を増やしたい人」「仲間と一緒に演奏したい人」に向けて合奏講座を開催します。
練習した曲は「Xmas フェスタ」のステージで披露。一緒に名曲を奏でませんか？

【演奏曲】 映画音楽メドレー（5～6パートに分かれて演奏予定）

【編曲/指導/指揮】 柴崎和圭（しばさきわか）

【レッスン（全5回）】

1～4回目 日程：2025/9/28(日)、10/26(日)、11/16(日)、12/7(日)

時間：13時～16時

場所：音楽センター地下ホール（東京都新宿区大久保 2-16-36）

5回目 日程：2025/12/21（日）※Xmas フェスタ当日

時間：未定（参加者には追って連絡）

場所：北とぴあペガサスホール（東京都北区王子 1-11-1）

【本番】 2025年12月21日(日)「アコーディオンの祭典 Xmas フェスタ」の
プログラムのひとつとして演奏を披露します。

【募集人数】 ①本受講生 30名 音楽センターでのレッスンを受講。

②地方受講生 10名 遠方に在住で、本番には参加できるが毎回のレッスンに通うのが難しい方。レッスン動画、楽譜、ニュース、音源などをメールで受け取り、ご自身で練習。

本番当日に交通費 3,000 円を支援（本番不参加の場合は支援なし）

＜地方受講生の条件＞

本番日にレッスン・本番に参加できる。メールでのやりとり・YouTube 動画の視聴が可能である。東京都・埼玉県・神奈川県・千葉県以外に在住者。

（第1回～4回の音楽センターレッスンにできれば1回は参加されることを推奨）

【参加料】 一般 18,000 円、JAA 会員 16,000 円

アコーディオン歴3年未満の方 14,000 円（JAA 会員限定）

※申込みと同時に JAA に入会して、割引料金で参加することも可能です。

※レッスン料・会場費・楽譜代含む（欠席しても返金はありません）

※Xmas フェスタ入場料を含みます

申込み方法 ※ 8/3(日) 締切

Web ページよりお申込・ご入金ください。

<https://jaa2020acc.wixsite.com/project/gassou>



2024Xmas フェスタでの合奏



合奏を終えた後の記念撮影

..... **ホワイトボード** (連絡はがきその他より)

関心ある方は、ホームページなどを開いて確認していただければと思います。

♪谷口・サンデートーク『アコーディオンを語る集い』♪

<https://taniguchi-gakki.jp/sunday.html>

タニグチ・サンデートークを動画で観ることができます。視聴可能な数が増えています。

♪かとうかなこ氏♪ <http://www.katokanako.com/index.html>

♪牧田ゆき氏♪ <http://www.planet-y.co.jp/makita/>

♪大塚雄一氏♪ <http://www.hi-ho.ne.jp/acc-ohtsuka>

♪後藤ミホコ アコーディオンチャンネル♪ <http://www.mihoko-goto.jp>

TENGO コンサート ロシアレストラン「マリア」に於いて 2024年7月31日更新

窓から自然の樹木が見える素敵な部屋でチャールダージュ ブラームス「交響曲第三番三楽章」二つのギター ルーマニアの歌と踊り 等視聴できます。

♪authentic midget orchestra スペシャルトリオ 真夏のディナーショー♪ <http://tanooka.net>

日 時 2025年8月9日(土) 開場 17:00 開演 18:00 (2ステージ入れ替えなし)

会 場 ドイツワインバーゆううん赤坂 ◇東京メトロ銀座線・丸ノ内線「赤坂見附」駅から徒歩3分

出 演 Reina Kitada (violin, vocal) 田ノ岡三郎 (accordion) 安齋孝秋(piano)

料 金 8,000円 (MC, ライブ特製プレート代込み) +別途飲み物代

〈コメント〉Paris-Tokyoをベースに世界に活動の場を広げるReina Kitadaのヴァイオリンと歌を軸に、ここでしか観られないミュゼット・シャンソンの世界を極上のトリオ編成で。ゆううん赤坂でのコラボレーションの中で生まれたレパートリーも交えて、今回も超美味な一夜をお届けいたします!!

予 約 ドイツワインバーゆううん赤坂 03-6426-5978 Mail: akasaka@yu-un.com

♪「ともしび」よりお知らせ♪ 事務センター移転のため住所、電話番号が変わりました

[事務所、スタジオ・アガニョーク\(稽古場\) アクセス - ともしびグループ](#)

〒171-0033 東京都豊島区高田3丁目21-11 高田橋ハイツ202 代表 03-6914-1621/FAX03-6914-1639

問合せ 03-6914-1621 ともしび事務センター (月~土 11:00~17:00/日・祝休み)

《ともしび出前歌声》他は、ともしびのホームページでご覧下さい

☆8月25日(月) ミューザ川崎 市民交流室 14:00~16:00 参加費 2,000円 定員 50名

☆9月8日(月) 越谷市中央市民会館 1階 劇場ホール 14:00~16:00 参加費 2,000円 120名

♪タキジコロサレタ アコーディオン Ver.♪

日 時 2025年8月17日(日) 開演 15:00

会 場 アコスタディオ ◇JR「原宿」駅竹下口から徒歩4分 Tel: 03-3408-4541

出 演 森陽介(アコーディオン演奏) 小町さなえ(朗読) 泉川真理(朗読)

料 金 2,000円 お飲み物付き(冷たいウエウカムドリンク)をご用意してお待ちしております。

□2017年に初演。以来何度も再演されてきた『タキジコロサレタ~多喜二を愛した人々、多喜二の愛した音楽』がパワーアップして帰ってきます。

前作同様、友人たちの証言で小林多喜二の実像にせまる他、当時の音楽運動の曲も挿入し、時代の空気が伝わる舞台になりました。

主 催 3R多喜二の会 Tel: 090-2653-8816 E-mail: tkg3r0220@gmail.com

..... ホワイトボード (連絡はがきその他より)

♪音楽センター 夏のアーディオン講習会 2025 in 野辺山高原

日 時 2025年8月22日(金)13:00開始~24日(日)13:00解散予定

☆さわやかなハッ岳の高原で思いっきり弾いて、楽しく上達しませんか？

丁寧なレッスンで定評のある講師陣が、あなたのレベルアップをお手伝いします。

演奏交流会も予定しています。是非ご参加ください！

会場&宿泊 **民宿りんどう** 長野県南佐久群南牧村海ノ口2168-3 TEL:0267-98-2306

講師(予定) 大田智美 川口裕志 柴崎和圭 森陽介(50音順)

内 容 個人レッスン、アンサンブル(予定)

参加費 全日程参加(受講料+2泊6食)42,000円(税込46,200円)

2日間参加(受講料+1泊3食)32,000円(税込35,200円)

定 員 28名(アコーディオンを演奏される方でしたら、どなたでも参加できます。初心者大歓迎)

申込締切 7月25日(金)※講習内容の調整のため、早めのお申し込みをお願いします。

アクセス 【車】八王子IC/中央道→長坂IC→清里高原道路→国道141号

練馬IC/関越道→上信越道→中部横断道→八千穂IC→国道141号

【JR(参考、2024年)】新宿10:00(中央線特急)→11:52着小淵沢11:56発(小海線)→12:27「野辺山」(送迎あり)

問合せ 音楽センター教育部 TEL:03-3208-8377 FAX:03-3200-0104

.....

♪クラリディオン LIVE 2025 Vol.4 ♪

日 時 2025年8月29日(金) 開場19:00 開演19:30

会 場 at ふらっとフラミンゴ ◇JR大阪環状線「天満」駅から徒歩1分

ドトールコーヒー天満駅前店の裏・居酒屋『時代屋』の右の階段を上った3階

出 演 寺田ちはる(アコーディオン) 草野友善(クラリネット)

□ポピュラー音楽・・・ピアソラの名曲などタンゴ、ポルカ、ミュゼットなどを中心にお届けします。

料 金 2,000円(全席自由)

問合せ 草野:090-3840-7245 寺田:090-8827-5859

.....

♪Bellows & Strings Live ♪ ~蛇腹と弦の出会い~

日 時 2025年9月6日(土) 開場13:30 開演14:30

会 場 喫茶ギャラリー花 ◇JR「立川」駅南口から徒歩3分 Tel:042-524-3668

出 演 パパガイオス(丸尾知子×矢田伊織):□アコーディオンとベースのデュオ。ピアソラやブラジルのフォホーから、戦前の懐メロまで、幅広いレパートリーを送ります。

小川正浩×竹内章人: □2019年結成のアコーディオンとバイオリンのデュオ。あらゆるジャンルの雑食的レパートリーを持ち、特にメドレー系を得意とします。

チャージ 2,500円

問合せ 小川正浩: ogawasara5555@gmail.com 携帯:080-3090-7716

丸尾知子: maurooo88x@gmail.com X(旧Twitter):@maruom_x

.....

♪ニッポン ハーモニカクラブ コンサート ♪ ~わが心のハーモニカの調べ~

日 時 2025年9月13日(土) 開場13:00 開演13:30

会 場 練馬文化センター小ホール(つつじホール)

◇西武池袋線・西武有楽町線・都営地下鉄大江戸線「練馬」駅北口から徒歩1分

出演予定 NHCサロン・ポップス 町田・ハーモニカフレンズ クロマチック・新宿合奏団 木村明美

むさしのハーモニカクラブレインボー ハーモニック・アベニュー クリスタルファイブ

まちだフレンズカルテット 角田江里 高谷律子 神野ヒトコ 芝貞幸 TPデュオ 他

料 金 全席指定(前売り:2,500円)(当日:3,000円)

問合せ NHC事務局(藤倉) 携帯090-4710-2976

..... ホワイトボード (連絡はがきその他より)

♪第42回 崎元 譲と仲間たちによる クロマティック・ハーモニカコンサート♪

日 時 2025年9月23日(火・祝) 開場 15:30 開演 16:00

会 場 ルーテル市ヶ谷センター ◇東京メトロ有楽町線・南北線「市ヶ谷」駅5・6番出口から2分
JR 総武線「市ヶ谷」駅地上出口から徒歩7分

出 演 岩田孝 宇井豊子 大塚直哉 岡田典子 金丸敏明 小池宗夫 佐々木行雅 末村一史

鈴木真澄 樽橋章 溝上裕夫 山崎大介 崎元譲 中里聡 ピアノ: 菅田富士江 吉比由美子

料 金 2,500円(当日:3,000円)

問合せ・前売りチケット予約 Tel & Fax: 03-3996-6241 (崎元)

♪千葉アコーディオンサークルコンサート♪

日 時 2025年10月19日(日) 開場 13:00 開演 13:30

会 場 千葉市民会館 小ホール ◇JR「千葉」駅東口から徒歩7分/「東千葉」駅から徒歩3分

演奏曲 真珠採りのタンゴ シェルブールの雨傘 雨に唄えば 他

◇入場無料

問合せ 千葉アコーディオンサークル

Tel: 090-7278-3607 (東谷)



♪創立75周年 合唱団白樺 第66回 定期演奏会♪ ～戦争のない世界を～

日 時 2025年11月1日(土) 開場 13:45 開演 14:30 (終演予定 16:30)

会 場 新宿文化センター 大ホール ◇東京メトロ副都心線・地下鉄大江戸線「東新宿」駅A3出口5分

出 演 指揮: 田邊賀一 ピアノ: 本間敦子 合唱と舞踊: 合唱団白樺

客 演 指揮: 及川 貢 ピアノ: 島田知恵 バラライカ: 北川翔 アコーディオン: 大田智美

ピアノ: 浜野与志男 オーケストラ: 北川記念ロシア民族楽器オーケストラ テノール独唱: 正木庸平

料 金 全席指定 S席 3,000円 A席 2,500円 B席 2,000円 車椅子席 1,000円 (同伴者も同額)

チケット 合唱団白樺 URL <http://g-shirakaba.net> から注文フォームへ 03-3415-1904 (ながき)

♪お楽しみ Music Box♪ Bigmama Project 20th Anniversary

日 時 2025年11月30日(日) 開場 13:30 開演 14:00

会 場 杜のホール はしもと(大ホール) ◇JR 横浜線、京王相模原線
「橋本」駅 北口「ミウイ橋本」7階

出 演 Luann: 千葉薫 (Acc. 1) Secky (Acc. 2) ヒラリソ (Vn.)

スガちゃん (Fl. & Mand.) and more...

曲 目 パリのミュゼット/おおシャンゼリゼ〜パリ・カナイコ

ルーマニア民俗舞曲 他

演 目 はらぺこあおむし (ユイ・チュジュ) ジャックと豆の木 (宮嶋千夏) 他

ゲスト Coucou! Accordion: 巴里祭 Air from Orchestral Suite 第3番

ブランデンブルク協奏曲 第3番

チケット 全席自由 1,500円 (チケット発売期間 8/1~11/29) 3歳以上要チケット

① チケット MOVE (電話 042-742-9999) <https://move-ticket-pia.jp>

チケットカウンター: 杜のホールはしもと/相模女子グリーンホール

② 電子チケットぴあ (<https://t.pia.jp>) Pコード: 297898

問合せ 一般社団法人ビッグママ・プロジェクト 電話 080-4946-2713



■関東アコ 次回実行委員会 2025年8月3日(日)19:30~ / 17日(日)20:00~ 予定